

たるみず元気プロジェクト^{〔健康長寿 関連〕} 1,251万5千円／保健課

(482万1千円増)

目的

鹿児島大学や垂水中央病院等関係団体と共同で、健康チェック等の事業に取り組むことで、健康寿命の延伸、医療・介護職の人材確保及び人材育成を行うとともに、高齢化社会の課題解決の「新しいモデルケース」の構築を図る

主な内容

- ①健康チェック ②健康チェック報告会
- ③重症化高血圧 ZERO！教室 ④その他派生事業

令和3年度
満足度
99.8%

健康チェック概要

健康チェックとは、40歳以上の市民を対象に、無料で、約20年間にわたり、8分野、約20項目の検査及び調査を実施することで、疾病予防や生命予後の改善による医療の発展だけでなく、寝たきりの予防など、介護必要度が軽減し、最終的に医療費適正化に寄与しようとするものです。

◎令和3年度健康チェックの様子



▲口腔検査



▲筋肉量及び脂肪量の測定



▲歩行速度の検査



▲保健師による問診



▲心電図検査



▲報告会での個別相談

早期発見につながった例

超早期ステージ0の口腔がんを発見
令和3年度の健康チェック参加者（80代）

ご本人は口内炎だと思っていたが、口腔検査時に医師から指摘を受け、鹿児島大学病院を紹介され、受診した結果、超早期の口腔がんが発見されました。検査を受けたご本人は「思わぬ所が悪かったりするの、検査を受けた方が良いと思う」と話されました。

調査から分かったこと【一例】

階段を多く使う人は骨量が低下しにくい
NEXMOseason2 vol.3（広報たるみず 10月号）で解説

超音波を使用して、169名のかかとの骨量を測定した結果、外出を含めた屋外の階段を、週8回以上使用している人は、骨量が低下している人の割合が少ないことが分かりました。



安心への挑戦

市民の幸せの基盤 安心を

「幸」の基盤である「安心」のために、防災対策や医療・福祉などの生活基盤の充実のための各事業を推進してまいります。

垂水市においては、全国でも先行して少子高齢社会を迎えており、全国平均に比べて社会保障費を支える世代と支えられる世代の人数に不均衡が生じています。そこで、市民の健康維持と健康長寿を目的として、鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学の大石充教授を垂水市スーパー

バイザーに迎え、平成29年度から「たるみず元気プロジェクト」をスタートさせました。令和3年度は、感染対策をしっかりと行った上で実施し、参加者から、手術を要する疾患が発見されるなど、早期発見・早期治療の機会も提供することができております。令和4年度においても、引き続き、感染対策を行いつつ、時間の効率化などの運用面の改善を図り、多くの皆様に参加しやすい環境を整えてまいります。

